

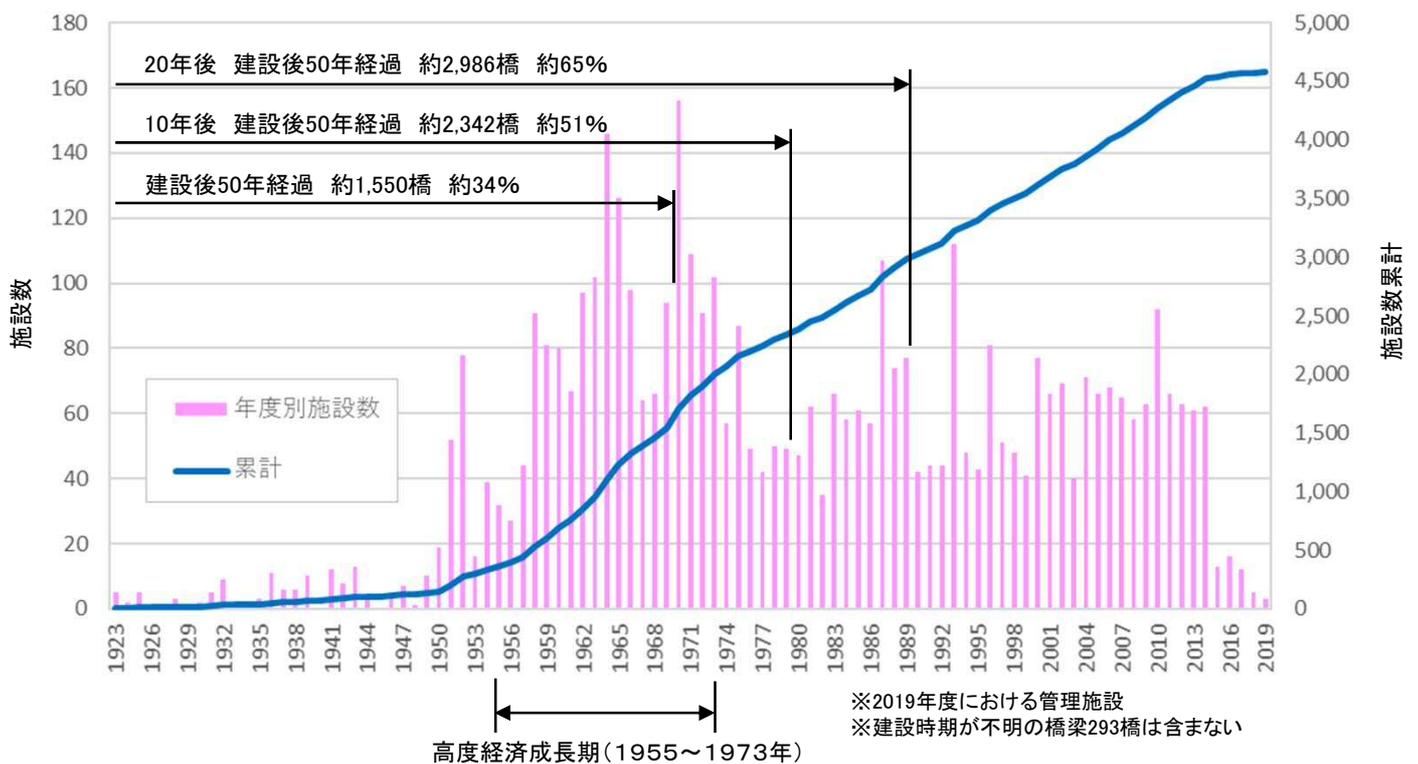
# (1) 道路構造物の老朽化の現状

## ② 国が管理する橋梁の老朽化の現状

●中国地方整備局が管理する橋梁は、令和2年4月1日現在4,869橋(L=2m以上)であり、高度経済成長期(1955年～1973年)に全体の約3割にあたる約1,700橋が建設されています。今後これら橋梁の高齢化が一斉に進むことから、補修・架替えが必要となることが想定されます。

中国地方整備局における建設後50年以上を経過した橋梁箇所数の占める割合は、現在の約34%から20年後には約65%にまで急激に増加します。

架設年次別の橋梁箇所数分布



経過年数別橋梁数 (L=2m以上)



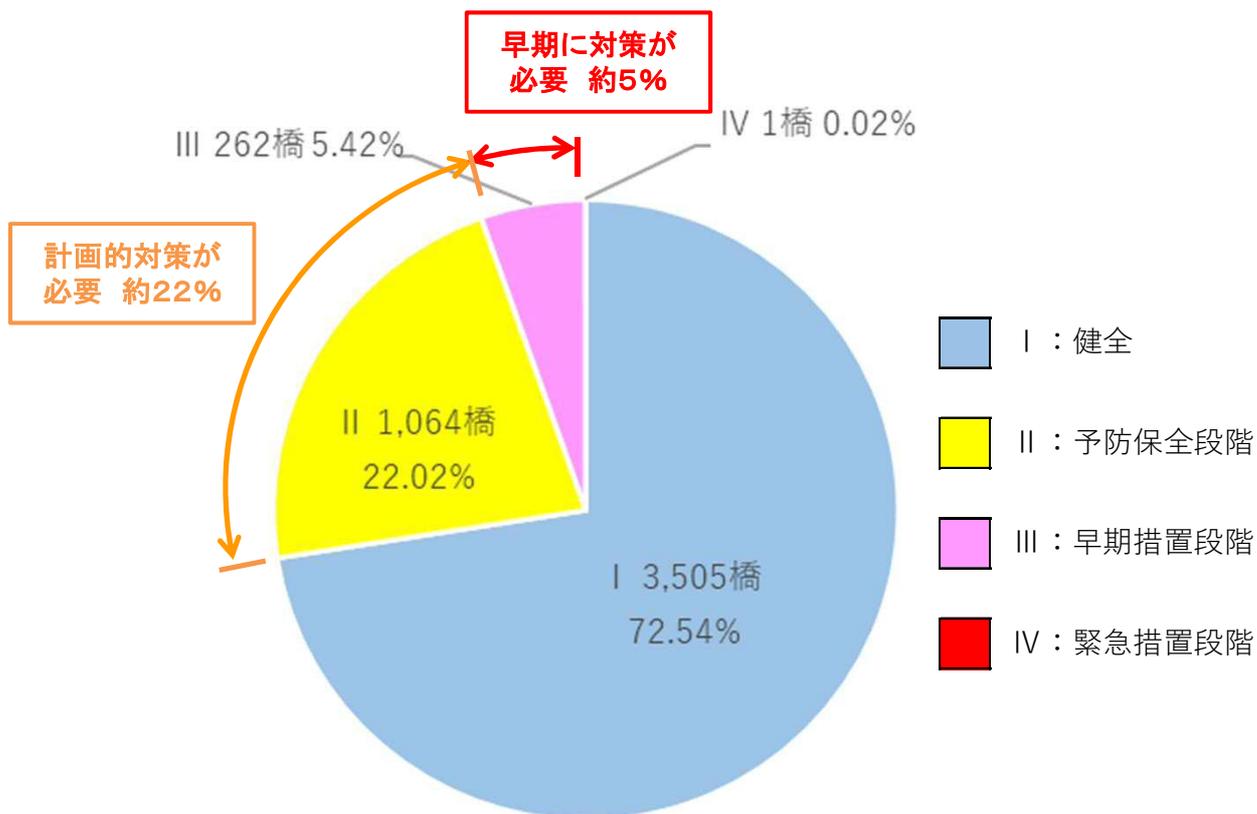
# (1) 道路構造物の老朽化の現状

## ② 国が管理する橋梁の老朽化の現状

●平成26～30年度に点検した橋梁4,832施設の約3割について、対策(措置)が必要な状況となっています。

### 平成26～30年度点検結果

点検対象施設数:4,832橋



### 変状の事例



床版ひびわれ



主桁の腐食



剥離・鉄筋露出

# (1) 道路構造物の老朽化の現状

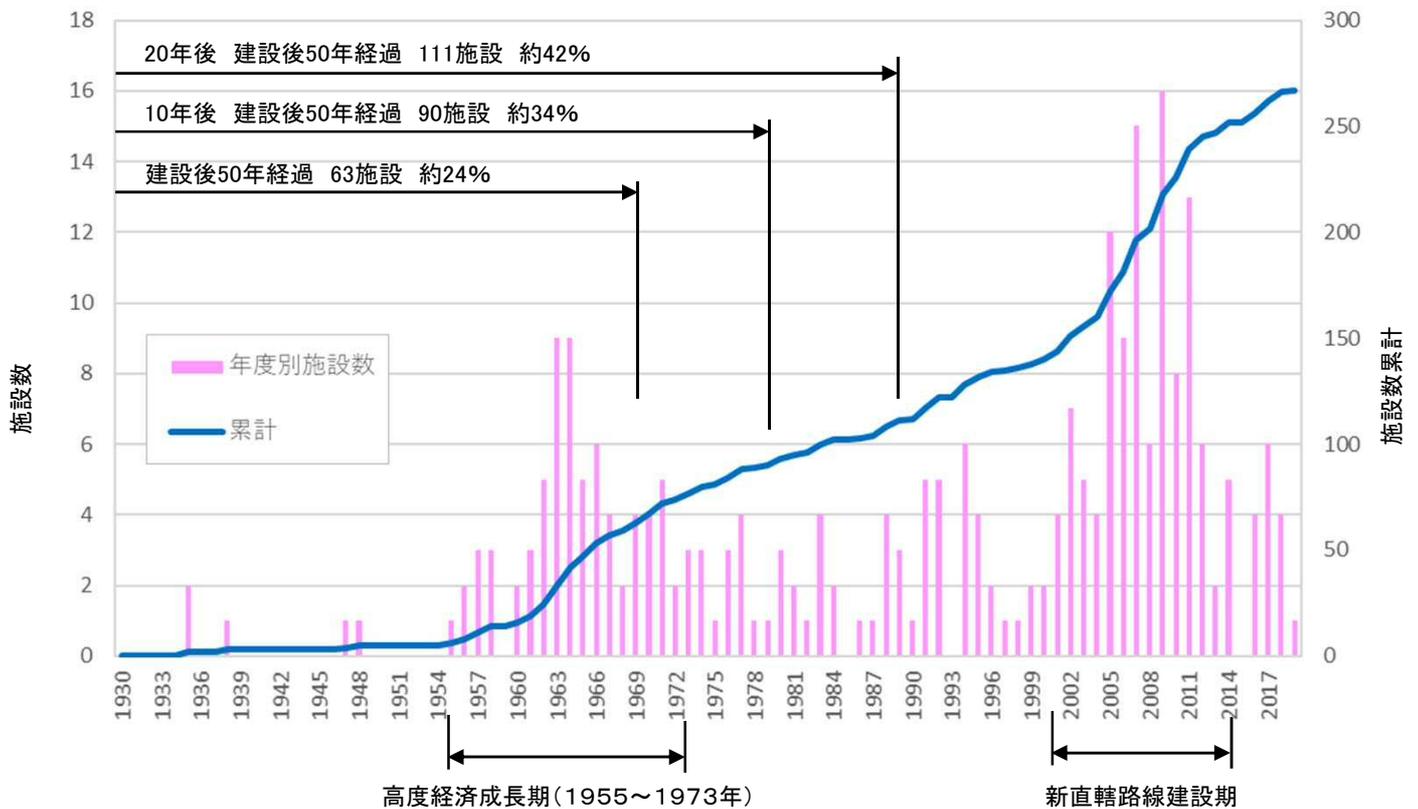
## ② 国が管理するトンネルの老朽化の現状

●中国地方整備局が管理するトンネルの数は、令和2年4月1日現在268施設であり、建設後の平均経過年数は約28年となります。

なお、建設後50年以上を越えるトンネル施設数の占める割合は、現在の約24%が10年後には約34%、20年後には約42%となり、高齢化が急速に進んでいく状況となっています。

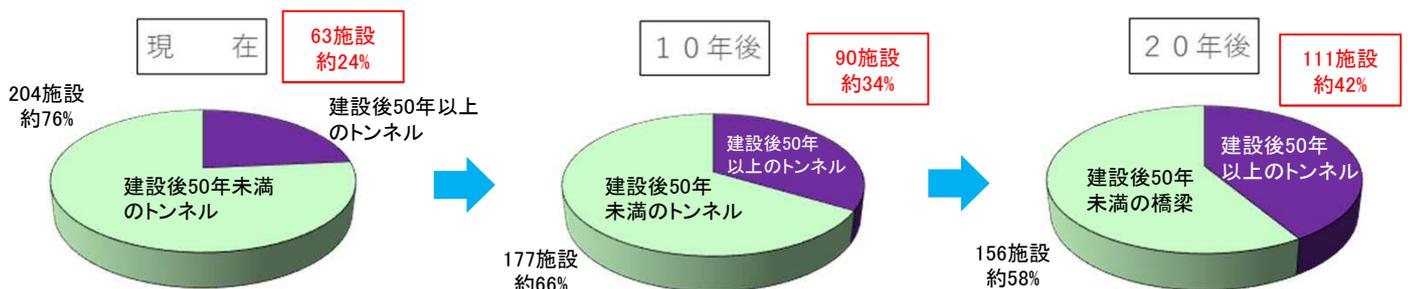
また、覆工コンクリートの「うき」や「はく離」等の変状が確認され、定期点検による確実な現状把握(早期発見)、点検結果に基づく確実な対策(早期補修)が必要となっています。

建設年度別のトンネル施設数分布



※2019年度における管理施設  
 ※建設時期が不明の1施設は含まない

経過年数別トンネル施設数



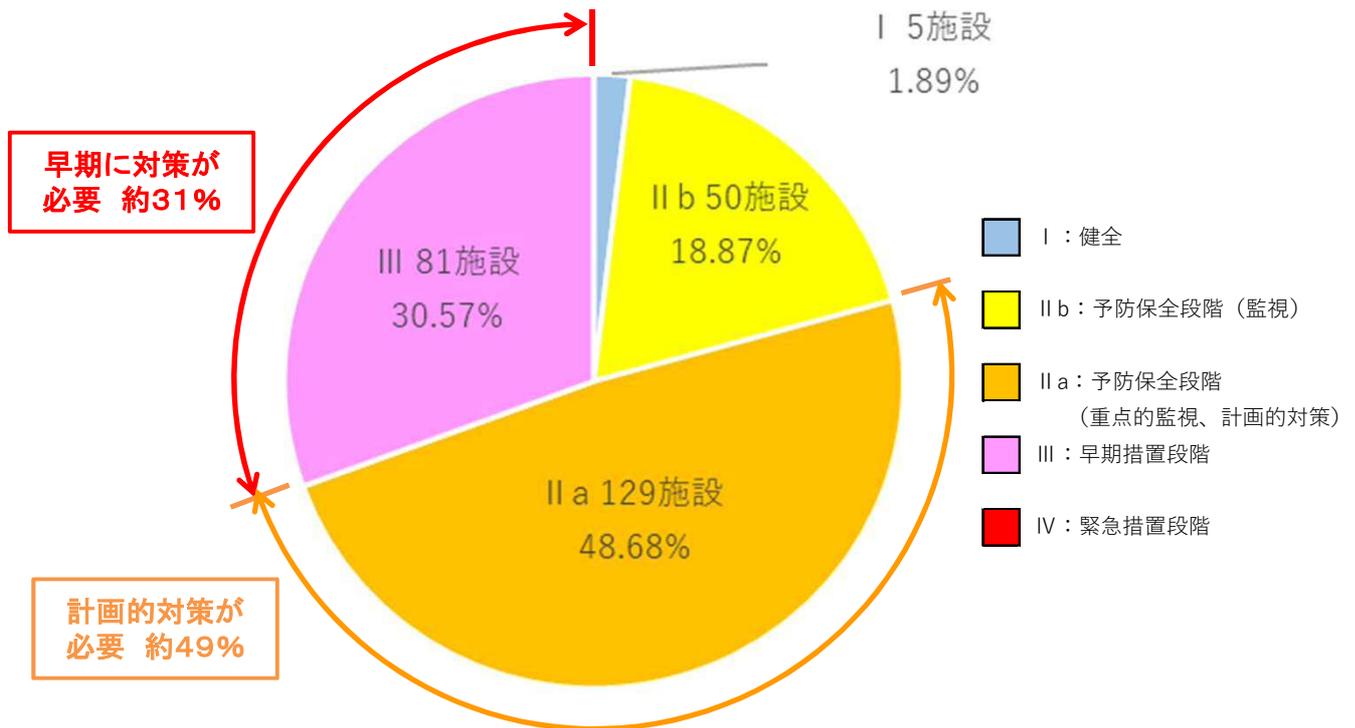
# (1)道路構造物の老朽化の現状

## ② 国が管理するトンネルの老朽化の現状

●平成26～30年度に点検したトンネル265施設の約8割について対策(措置)が必要な状況となっています。

### 平成26～30年度点検結果

点検対象施設数:265施設



### 変状の事例

横断目地部に閉合するひび割れ



ひび割れ沿いのうき



漏水による路面の滞水



# (1) 道路構造物の老朽化の現状

## ② 国が管理するシェッド、大型カルバートの老朽化の現状

●中国地方整備局が管理するシェッド、大型カルバートの数は、令和2年4月1日現在300施設であり、建設後の平均経過年数はシェッドで約30年、大型カルバートで約21年となります。

なお、建設後50年以上を越える施設数の占める割合は、現在の約4%が10年後には約15%、20年後には約31%となり、高齢化が進んでいく状況となっています。

また、コンクリートの「うき」や「はく離」等の変状が確認され、定期点検による確実な現状把握(早期発見)、点検結果に基づく確実な対策(早期補修)が必要となっています。

### 施設事例写真



シェッド

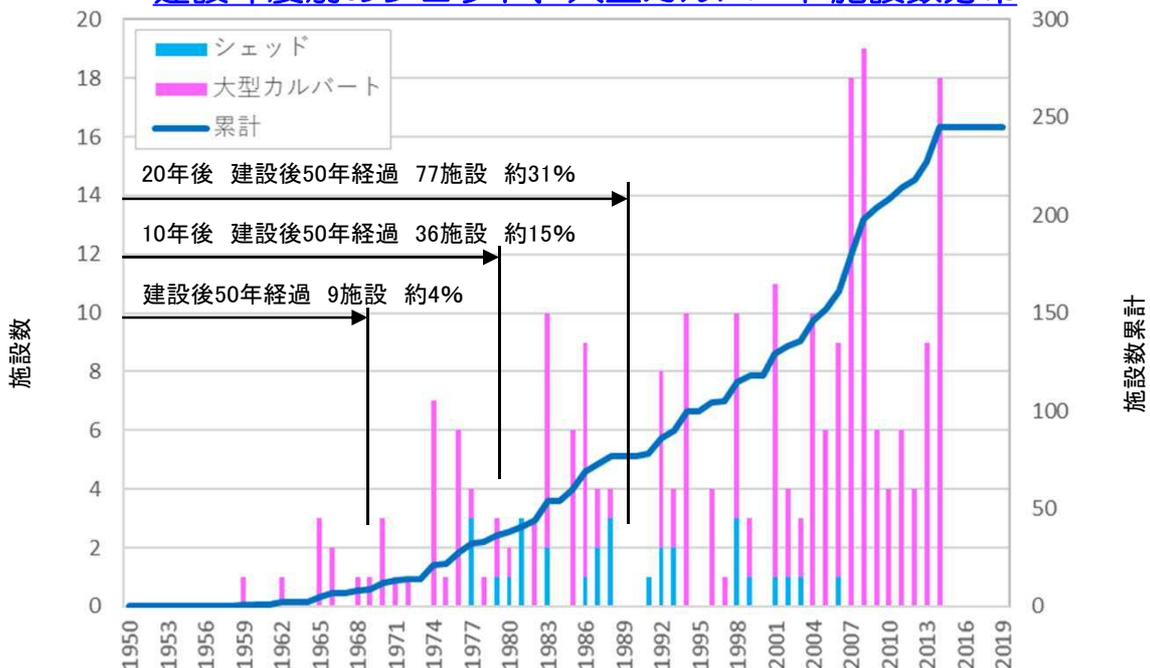
屋根・柱部材で道路を覆い、落石等から道路利用者を防護する施設であり洞門工とも呼ばれる。



大型カルバート

道路の下を横断する道路等の空間を確保するための施設で、内空2車線以上の道路を有する程度の規模をいう。

### 建設年度別のシェッド、大型カルバート施設数分布



※2019年度における管理施設  
※建設時期が不明の55施設は含まない

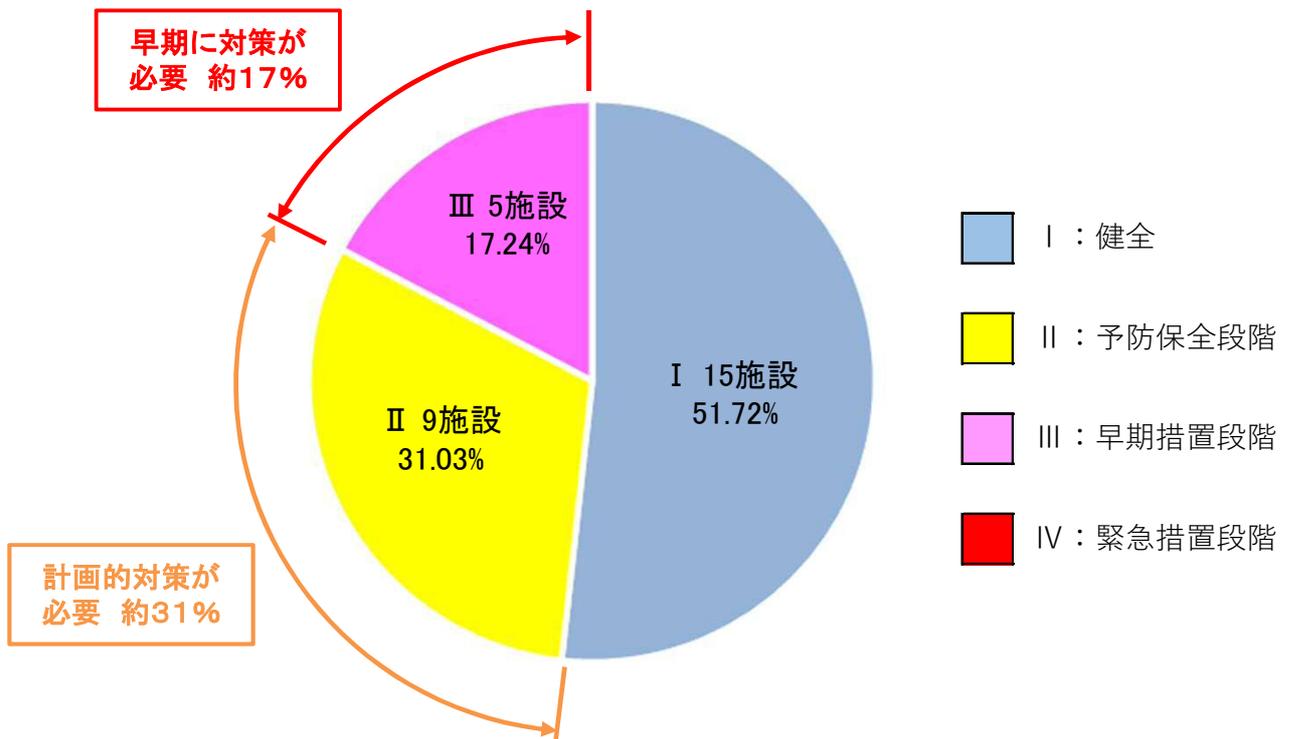
# (1) 道路構造物の老朽化の現状

## ② 国が管理するシェッド、大型カルバートの老朽化の現状

●平成26～30年度に点検したシェッド29施設の約5割について対策(措置)が必要な状況となっています。

### 平成26～30年度点検結果

点検対象施設数: 29施設

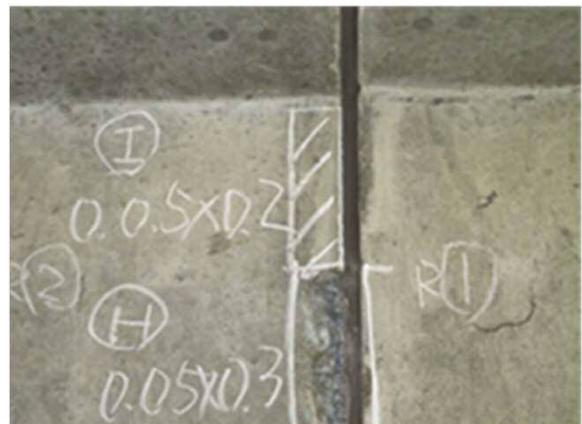


### 変状の事例

支柱部のうき  
はく離(鉄筋露出)



横梁部のうき  
はく離(鉄筋露出)



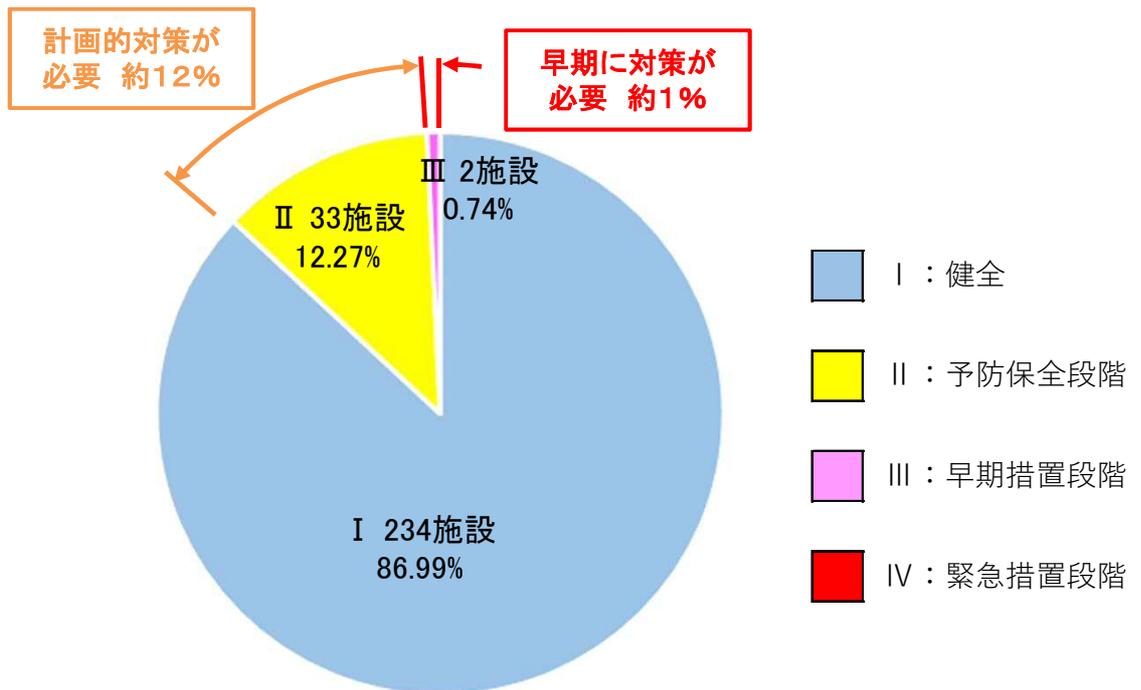
# (1) 道路構造物の老朽化の現状

## ② 国が管理するシェッド、大型カルバートの老朽化の現状

●平成26～30年度に点検した大型カルバート269施設の約1割について対策(措置)が必要な状況となっています。

### 平成26～30年度点検結果

点検対象施設数:269施設



### 変状の事例

側壁部のうき  
はく離(鉄筋露出)



頂版部のひび割れ  
漏水



# (1)道路構造物の老朽化の現状

## ② 国が管理する横断歩道橋の老朽化の現状

●中国地方整備局が管理する横断歩道橋の数は、令和2年4月1日現在233施設であり、建設後の平均経過年数は約42年となります。

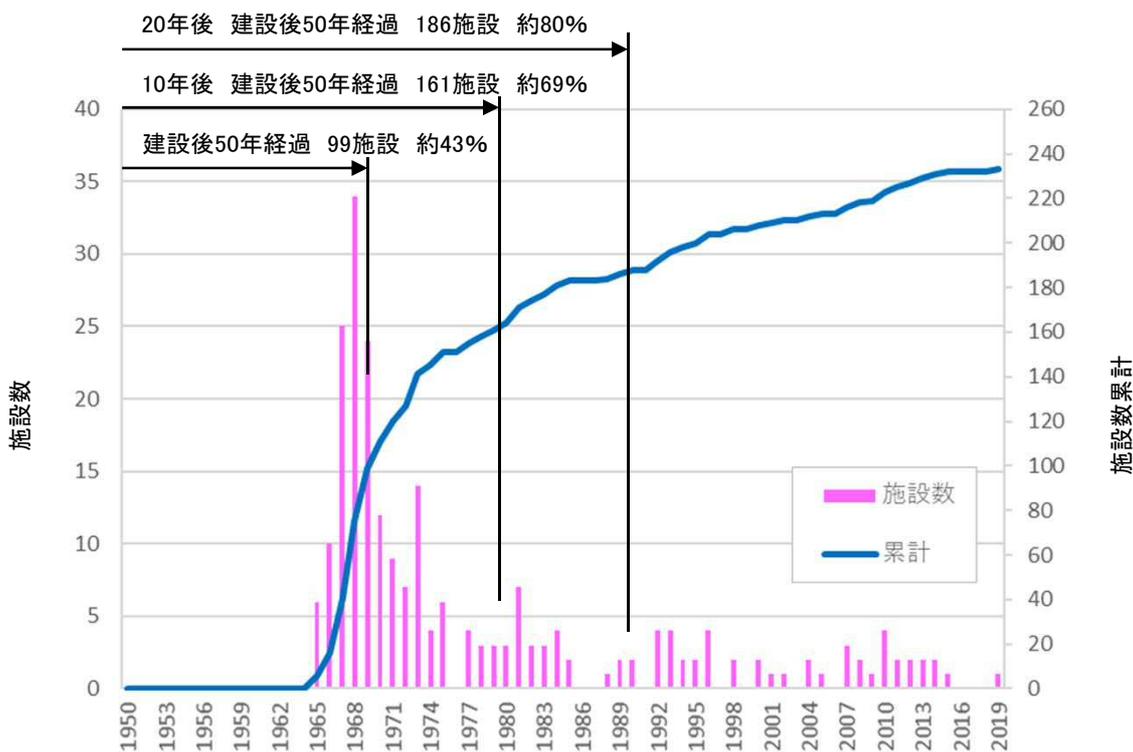
なお、建設後50年を越える施設数の占める割合は、現在の約43%が、10年後には約69%、20年後には約80%となり、高齢化が急速に進んでいく状況となっています。

また、鋼部材の「塗装の劣化」や「腐食」等の変状が確認され、定期点検による確実な現状把握(早期発見)、点検結果に基づく確実な対策(早期補修)が必要となっています。

### 施設事例写真



### 建設年度別の横断歩道橋施設数分布



※2019年度における管理施設

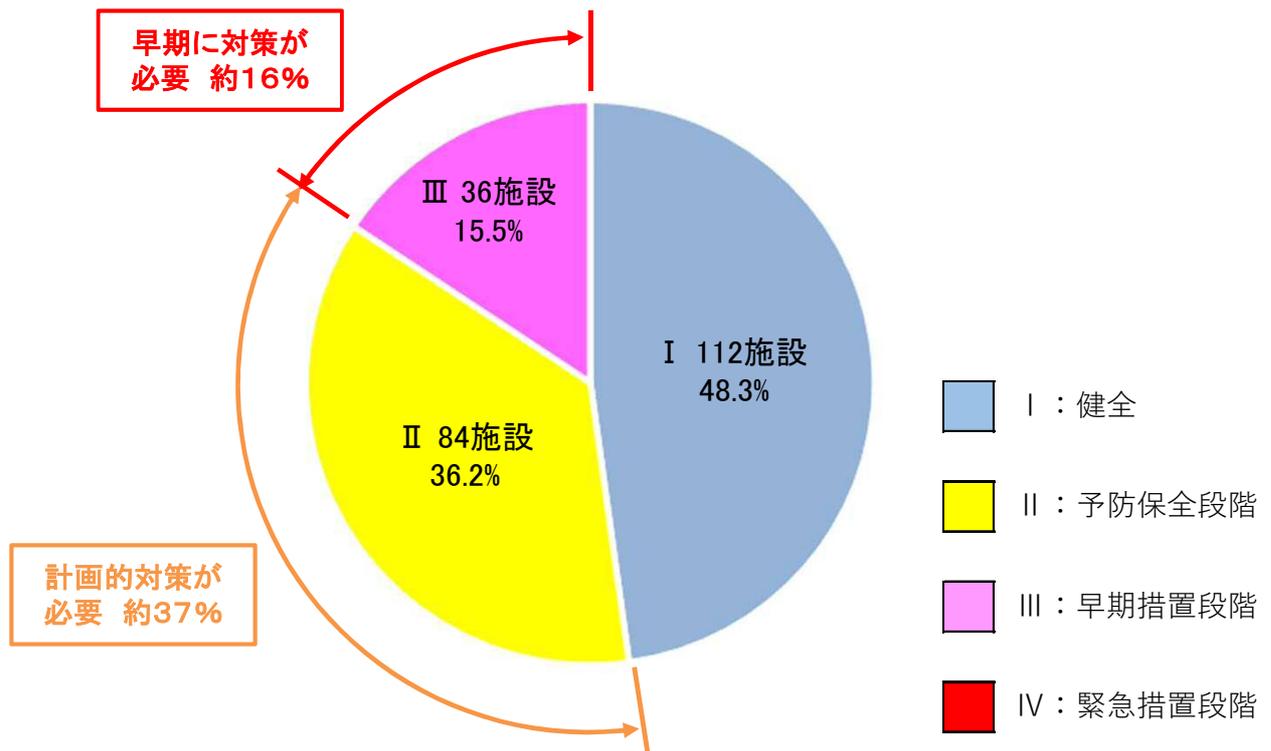
# (1)道路構造物の老朽化の現状

## ② 国が管理する横断歩道橋の老朽化の現状

●平成26～30年度に点検した横断歩道橋232施設の約5割について対策(措置)が必要な状況となっています。

### 平成26～30年度点検結果

点検対象施設数:232施設



### 変状の事例

主桁部の腐食  
(防食機能の劣化)



床版部(デッキプレート)の腐食



# (1)道路構造物の老朽化の現状

## ② 国が管理する門型標識等の老朽化の現状

●中国地方整備局が管理する門型標識等の数は、令和2年4月1日現在340施設であり、建設後の平均経過年数は約22年となります。

なお、建設後50年以上を越える施設は無いが、10年後には約8%、20年後には約31%となり、高齢化が進んでいく状況となっています。

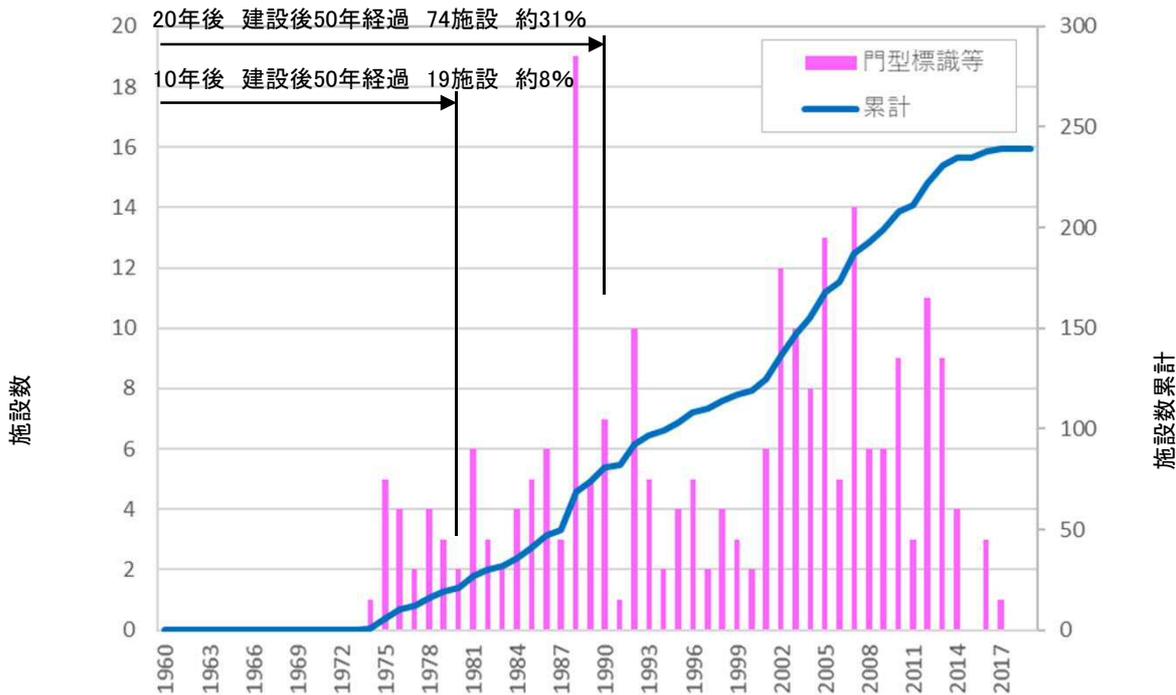
また、鋼部材の「塗装の劣化」や「腐食」等の変状が確認され、定期点検による確実な現状把握(早期発見)、点検結果に基づく確実な対策(早期補修)が必要となっています。

### 施設事例写真



門型標識等とは、門型支柱(オーバーヘッド式)を有する大型の道路標識や情報提供装置(収集装置含む)をいう。

### 建設年度別の門型標識等施設数分布



※2019年度における管理施設  
※建設時期が不明の101施設は含まない

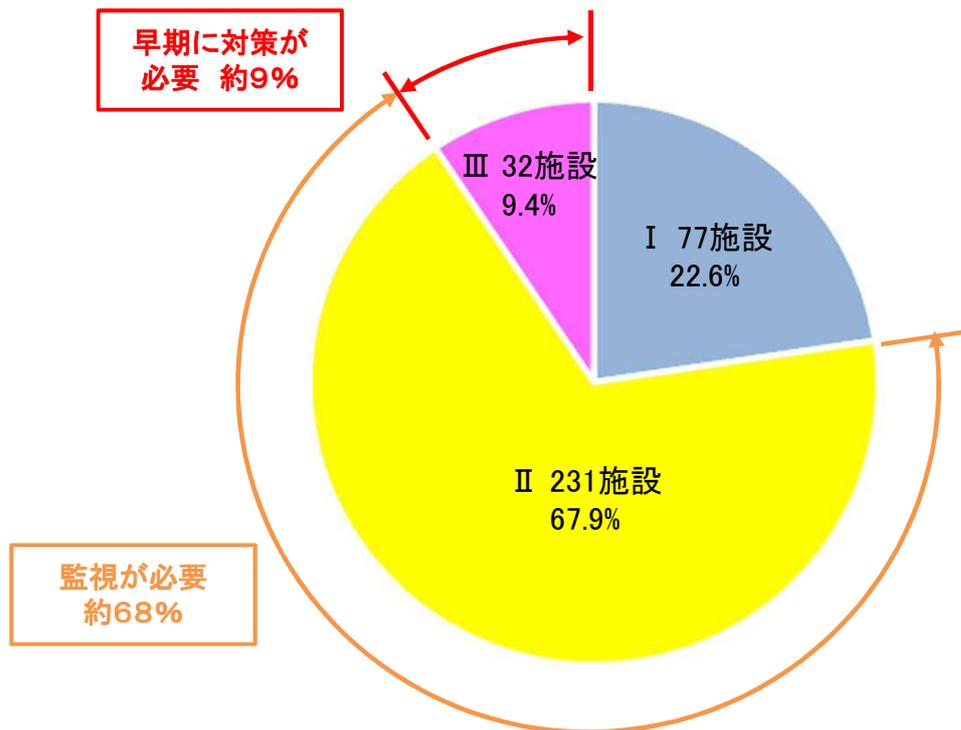
# (1)道路構造物の老朽化の現状

## ② 国が管理する門型標識等の老朽化の現状

●平成26～30年度に点検した門型標識等340施設の約1割について対策(措置)が必要な状況となっています。

### 平成26～30年度点検結果

点検対象施設数:340施設



### 変状の事例

横梁継ぎ手部の腐食  
(防食機能の劣化)



支柱基部の腐食

